

弘前市総合計画後期基本計画策定のための各種団体からの意見聴取について

- ・当市では、**平成31年3月に弘前市総合計画（以下「総合計画」という。）を策定**し、将来都市像「みんなで創りみんなをつなぐあずましいりんご色のまち」の実現に向け、各種事業に取り組んでおります。
- ・**令和4年度末で前期基本計画の計画期間を終えるため、後期基本計画の策定に向けて、総合計画の「政策の方向性」毎に関係団体の皆様との意見交換会を行い、ご意見・ご提案等を計画策定の参考にさせていただきますこととしております。**

意見聴取の方法	例
①既存の審議会・会議等	・弘前市協働によるまちづくり推進審議会 ・弘前市中心市街地活性化協議会、等
②日常業務	・事業実施の中で得られる関係団体からの要望 ・関係団体対象の記述式アンケート、等

聴取した意見の取扱
・令和3年度は意見の聴取のみを行うこととし、令和4年度には後期基本計画策定作業において、 聴取した意見をもとに、課題等現状の把握・分析や新たな事業・施策の立案等に活用 する。 (裏面「聴取した意見の活用具体例」参照)

分野別政策	①学び	②文化・スポ	③子育て	④健康・医療	⑤福祉	⑥雇用	⑦農林業	⑧商工業	⑨観光	⑩環境・エネ	⑪安全・安心	⑫雪対策	⑬都市基盤	⑭景観・文化財	⑮移住・交流	⑯市民協働
-------	-----	--------	------	--------	------------	-----	------	------	-----	--------	--------	------	-------	---------	--------	-------

政策	政策の方向性	施策
⑤福祉	1 高齢福祉の充実	1) 高齢者の社会参加・生きがいの促進
		2) 介護予防と自立思念介護の促進
	2 障がい福祉の充実	3) 介護サービスの適正化
4) 地域ケアの促進		
3 自立・就労支援の充実	1) 生活困窮者及び就労困難者等の自立・就労支援	1) 障がい者に寄り添った地域生活支援
		2) 障がい者の就労支援

令和3年度第1回弘前市社会福祉問題対策協議会において意見聴取を行います。

【対象範囲】
分野別政策⑤福祉 > 政策の方向性「3 自立・就労支援の充実」
 第1回（令和3年10月25日）
 ①（「政策の方向性」に関する）現状と課題説明
 ②意見交換

聴取した意見の活用具体的例 ※朱書き部分が活用内容

政策の方向性 1 文化芸術活動の振興

【①目指す姿】

■文化芸術イベントの招致や講演会等の実施により、次代を担う子どもたちや市民が優れた文化芸術に触れるための取組が推進されているとともに、市内文化芸術団体の連携による活動が展開されています。

■多くの市民が文化芸術を身近なものと捉え、伝統を大切にしながら自主性や創造性を発揮して文化芸術活動に参加するようになり、暮らしの中で心の豊かさを感じています。

「目指す姿」への反映

政策課題指標	基準値(2018年度)	目標値(2022年度)
文化・芸術活動をしている市民の割合	26.4%	30.0%
指標の説明		
『弘前市市民意識アンケート』における「文化・芸術に係る活動への参加や文化・芸術公演等の鑑賞をしていますか」という質問に、「している」と回答した市民の割合		

新規指標の検討

【②現状と課題】

◇文化・芸術活動の状況

- 文化芸術活動をしている市民の割合は、増加傾向ではあるものの、市民の文化芸術活動の基礎となる文化団体の活動は、高齢化や会員減少、活動資金不足のため、活動休止が危惧されている現状にあります。
- 市民文化祭実行委員会加盟団体数は、過去最高の32団体に対し、現在は27団体加盟しており、高齢化により活動が危惧されている団体もあれば、弘前大学のサークルによる加盟もあります。
- 文化芸術の体験や活動を行うためにも、市民が自ら文化芸術活動に参加するほか、成果発表の機会提供、優れた芸術や作品に触れる機会創出、次代を担う人材育成や確保など、継続して取り組むことが必要になります。
- 意見交換会での意見のように、団体同士の情報共有・交換や協力を図りながら、引き続き文化活動の支援を行うとともに、本市の文化振興をどのように進めていくのが整理する必要があります。

「現状と課題」の把握・分析への活用

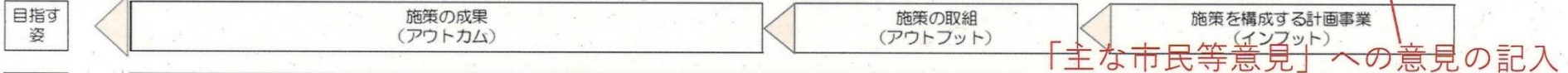
〈主な統計値(定量分析)〉



〈主な市民等意見(定性分析)〉

関係団体との意見交換会では、「文化芸術団体間での情報共有・交換が必要」「団体同士のコラボにより新しいものができる」といった意見が寄せられました。

【③政策の方向性の目指す姿までに至る施策と成果の図式(ロジックモデル)】



「主な市民等意見」への意見の記入

1 文化芸術活動の振興

施策 1) 文化・芸術活動の推進 新規施策の検討

【期待する成果】

- ・文化芸術団体の会員減少が進む中でも、市民が文化芸術活動に参加したり、一流の文化芸術公演等を鑑賞したりする活動が継続しています。
- ・文化施設を活用した市民主体の取組がより活発になっています。
- ・文化芸術分野における人材が育成されています。

【取組内容】

- ・市民に対する成果発表の機会提供や一流の文化芸術に触れる機会の創出を図るとともに、次代を担う人材の育成を図ります。
- ・本市における今後の文化芸術振興の方針等を定める文化芸術振興計画を策定し、関係団体等と連携しながら文化振興の取組を推進します。
- ・弘前れんが倉庫美術館において、アート展示のほかに文化芸術を通じた市民活動や交流を促進することで、文化芸術活動の推進を図ります。

施策成果指標	基準値(2017年度)	目標値(2022年度)
1 市民文化祭等の参加者・鑑賞者数	122,004人	125,000人
2 後継者育成のための講習会等への参加者数	2,970人	21,200人

指標の説明

1 市民文化祭や一流芸術文化イベント等の参加者数及び鑑賞者数
2 後継者育成のための講習会(楽棋別講習会、将棋教室、ダンスワークショップなど)への参加者数

新規事業の検討

- ①弘前市民文化祭共催事業
- ②一流芸術等文化イベント開催事業
- ③音楽芸術後継者育成事業
- ④文化芸術振興計画策定事業
- ⑤れんが倉庫美術館等管理運営事業

「期待する成果」への反映

(出所:「弘前市総合計画前期基本計画(2021年3月改訂版)」p.72-73より抜粋)

※聴取した意見については、令和4年度の策定作業で活用することとし、令和3年度は意見交換会開催による意見の聴取のみを行います。